

3. 意見の内容と市の考え方

番号	7	事業名	佐久市市民活動サポートセンター(仮称)設置準備	担当課	広報広聴課	
重点施策の分類	徹底した情報公開による市民参加型市政の実現			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				799	799	12
事業内容	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい公」の分野における、市民の公益的な市民活動に対する市民の自発的・主体的な参加を促進することを目的に、市民活動支援の拠点となる市民活動サポートセンター（仮称）を設置します。</p> <p>平成22年度は、市民活動サポートセンター（仮称）設置に向け、ワークショップや計画検討委員会等を開催し、設置計画を策定します。</p> <p>佐久市市民活動サポートセンター設置計画検討委員会（仮称）15人、6回開催予定 ワークショップ（グループで作業を進める体験型の学習や創造の場）50人、11回開催予定</p>					
いただいたご意見の要旨				担当課の回答		
(1)適齢期の子を持つ親として、もっと婚活のできる場を市としてもサポートして頂いたり、出逢いの少ない若い人にも力になってほしいと願っています。				(1)市民活動サポートセンターは、社会や地域が抱える課題（子育て、高齢者・障害者等の福祉、環境美化、まちづくり、教育など）に対して、市民の皆さんが自らの価値観や信念、関心に基づき、営利を目的としないで取り組む自発的な活動（市民活動）を支援していく施設です。 従いまして、市民活動サポートセンターでは、市社会福祉協議会が開催している「婚活パーティー」と同様の公益的な趣旨をもって取り組む、市民活動を支援することが可能となります。 具体的な市民活動への支援の内容などにつきましては、今後、市民の皆さまの意見をお聞きするワークショップを開催し設置計画に生かしていきます。是非、ワークショップに参加していただき様々なご意見をお聞かせください。		
(2)事業名にカタカナや外来語の使用が多すぎる。				(2)市長の公約である事業の取り組みであり、公約で標記された名称を仮称として使用しております。計画策定の中で市民の皆さんの意見をお聞きし、この名称を含め解りやすく親しみやすい名称を検討してまいります。		
(3)サポート活動を行うことは、おおいに賛成するが、そのために新たに建物をつくることは大反対です。				(3)平成21年12月議会で申し上げたとおり、既存の公共施設の有効活用を第一に考え、ワークショップに設置可能な施設を提示しながら、市民の皆さまからのご意見をいただく中で、より効果・効率的な施設を選定していくように考えてまいります。		
(4)市民活動に直接参加を、一般公募を要望します。設置検討委員会になり「市民直接参加型市政」の実現に協力できたらと思います。				(4)ワークショップはすべて公募で行うこととしております。また設置計画検討委員につきましては、市民が主体となるよう検討中です。		

番 号	7	事業名	佐久市市民活動サポートセンター(仮称)設置準備	担当課	広報広聴課	
重点施策の分類	徹底した情報公開による市民参加型市政の実現			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				799	799	12
事業内容	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい公」の分野における、市民の公益的な市民活動に対する市民の自発的・主体的な参加を促進することを目的に、市民活動支援の拠点となる市民活動サポートセンター（仮称）を設置します。</p> <p>平成22年度は、市民活動サポートセンター（仮称）設置に向け、ワークショップや計画検討委員会等を開催し、設置計画を策定します。</p> <p>佐久市市民活動サポートセンター設置計画検討委員会（仮称）15人、6回開催予定 ワークショップ（グループで作業を進める体験型の学習や創造の場）50人、11回開催予定</p>					
いただいたご意見の要旨				担 当 課 の 回 答		
<p>(5)佐久市にもこの拠点ができると大賛成です。しかし、県・長野市・他県をみると利用方法の相違、広告方法でこのセンター運営を存在の意義が問われると思います。予算を増やし、研修を重ね当然佐久市の市民活動グループの実態、施設を基に実現に向けて事業化してほしいです。</p> <p>(6)「新しい公」の分野への市民参加構想に賛成です。ただし、検討委員会・ワークショップを進めるにあたって、センター自身が市民の自由な活動の足枷にならないよう、くれぐれも留意することを要請します。「金は出すが口は出さない」がベストです。</p> <p>(7)ワークショップを立ち上げてほしい。幼児を持つ若いお母さん方と交流をし、バランスのとれた食の大切さを伝えたい。</p> <p>(8)様々な分野で市民が主体となる活動をサポートするセンターが設置されることは少子高齢化に備えて大変意義のあることと思います。一人ひとりの個人ではなかなか踏み込めないことも、バックアップできるシステムがあれば安心して参加できることになり手助けを受ける側もまた然りと考えます。</p>				<p>(5)(6)(7)(8)(9)(11)(12)市民の皆さんの市民活動への意識の高まりと、佐久市の地域特性や実情に見合った市民主体のサポートセンター設置計画の策定を目的に、市民参加のワークショップの手法によりサポートセンター設置に取り組むこととしております。ワークショップでは、参加していただく市民の皆さんに、市民活動について佐久市の現状等に対する認識を含め学習活動を行っていただきながら、意見や提案をまとめていただくこととしております。</p>		

番 号	7	事業名	佐久市市民活動サポートセンター(仮称)設置準備	担当課	広報広聴課	
重点施策の分類	徹底した情報公開による市民参加型市政の実現			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				799	799	12
事業内容	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい公」の分野における、市民の公益的な市民活動に対する市民の自発的・主体的な参加を促進することを目的に、市民活動支援の拠点となる市民活動サポートセンター（仮称）を設置します。</p> <p>平成22年度は、市民活動サポートセンター（仮称）設置に向け、ワークショップや計画検討委員会等を開催し、設置計画を策定します。</p> <p>佐久市市民活動サポートセンター設置計画検討委員会（仮称）15人、6回開催予定 ワークショップ（グループで作業を進める体験型の学習や創造の場）50人、11回開催予定</p>					
いただいたご意見の要旨				担 当 課 の 回 答		
<p>(9) NPO法人スタッフとしての活動の中で、今までは同じ地域で活動をしていてもお互いの存在や活動の内容が見えていなかったため、市民活動を行っている団体・個人をつなぐ役割を果たす機関があればと考えていた。市民活動サポートセンターの設置にNPOやボランティアなどに携わる市民が増え活動の幅が広がることを期待する。これからは、市民一人ひとりが行政とパートナーシップを結びながら、自分だけのためではなく、誰かのためにも何かできる「自分」を構築していくことが大事だと考えている。市民が新しい生き方を見つけることができるセンターにしたい。</p> <p>(10) 設置検討委員会の構成について、全員市民とし事務局・アドバイザー・団体代表・市各課からのメンバーは別に置く。この計画が住民自治の確立にむけて根幹となるためのコミュニティシンクタンクとして機能するよう期間限定で6回開催の計画は増やす。ワークショップの上限をなくし、日数は進行の過程や要望により柔軟に開催できることが重要。ワークショップはワールドカフェ（グループリーダー以外は各グループを渡り歩ける討論）という手法を提案する。</p>				<p>(10) 設置計画検討委員会の構成等については、市民が主体となるよう検討中です。また、ワークショップは全体会と自主的なグループ活動により行う計画であり、全体会の中で、「ワールドカフェ」の手法を取り入れることが可能と考えられますので、今後検討を進めてまいります。</p> <p>募集人数の上限については、より多くの市民の皆さんに参加いただけるよう制限を設けない方向で検討いたします。</p>		

番 号	7	事業名	佐久市市民活動サポートセンター(仮称)設置準備	担当課	広報広聴課	
重点施策の分類	徹底した情報公開による市民参加型市政の実現			予算要求額	当初予算額(案)	意見件数
				799	799	12
事業内容	<p>多様化する市民ニーズに対応するため、「新しい公」の分野における、市民の公益的な市民活動に対する市民の自発的・主体的な参加を促進することを目的に、市民活動支援の拠点となる市民活動サポートセンター（仮称）を設置します。</p> <p>平成22年度は、市民活動サポートセンター（仮称）設置に向け、ワークショップや計画検討委員会等を開催し、設置計画を策定します。</p> <p>佐久市市民活動サポートセンター設置計画検討委員会（仮称）15人、6回開催予定 ワークショップ（グループで作業を進める体験型の学習や創造の場）50人、11回開催予定</p>					
いただいたご意見の要旨				担 当 課 の 回 答		
<p>(11)市民活動実践者として、1．市民活動には現市政の方針や計画に沿うものも反対するものもあり、どちらの活動も行政は尊重すべき立場にある。2．サポートにより市民に自治体依存傾向が生まれたり、自治体側も市民活動を、行政の肩代わりに利用する傾向は慎重に考えるべき点。3．市民活動サポートの在り方をよく検討し、設置する意味も検討が必要。センター設置が目的ではなく、佐久市における豊かなまちづくりや文化スポーツ活動、あるいは地方自治が市民のいきいきとした活動で継続発展することが目的となるべき。1年かけて佐久市の市民活動の状態、市民の要望等を検討し、サポートセンターが必要であるかどうかを改めて議論することを要望します。</p> <p>(12)活動拠点設置場所を望月宿街道沿いにし、地域とそこに訪れる人にも優しい緑づくりの場としたい。縁側の機能の拠点施設を設けることで地域のふれあいと訪れる人のふれあいが真のまちづくりにつながり市民活動の活性化ができる。拠点施設の機能は活動グループのサポートできる職員を置くことで事務の効率化やアクセス機能を活かし交流の機会を増やすことによる相乗効果を生み出すことができる。</p>						